

みずほCustomer Desk Report 2017/11/16 号(As of 2017/11/15)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.50 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.42	1.1790	133.72	0.9899	1.3156	0.7630
SYD-NY High	113.49	1.1862	133.86	0.9911	1.3215	0.7633
SYD-NY Low	112.47	1.1785	132.98	0.9847	1.3131	0.7574
NY 5:00 PM	112.87	1.1792	133.10	0.9887	1.3170	0.7589
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.375/8.745		△25RR	1.013	Yen Call Over	
NY DOW	23,271.28	▲ 138.19	債券市場	日本2年債	-0.1840	▲0.1bp
NASDAQ	6,706.21	▲ 31.66		日本10年債	0.0460	▲0.4bp
S&P	2,564.62	▲ 14.25		米国2年債	1.6834	▲0.4bp
日経平均	22,028.32	▲ 351.69		米国5年債	2.0316	▲2.7bp
TOPIX	1,744.01	▲ 34.86		米国10年債	2.3222	▲5.0bp
シカゴ日経先物	22,120.00	▲195.00	為替市況	独10年債	0.3760	▲2.1bp
ロンドンFT	7,372.61	▲41.81		英10年債	1.2860	▲3.5bp
DAX	12,976.37	▲57.11		豪10年債	2.5890	▲6.9bp
ハンセン指数	28,851.69	▲ 300.43		USD/CNH	6.6327	▲ 0.0040
上海総合	3,402.52	▲ 27.02		ドルインデックス	93.81	▲0.01
USDJPY 3M Vol	8.48	0.23%	商品市況	CRB指数	188.638	▲0.42
USDJPY 6M Vol	8.97	0.16%		NY金	1,277.70	▲5.20
EURJPY 3M Vol	7.85	0.17%		WTI	55.33	▲0.37
EURJPY 6M Vol	8.77	0.09%		Dubai Spot	59.62	▲1.65

東京	東京時間のドル円は113.42レベルでオープン。この日は五・十日に当たり、仲値にかけては実需フロー等のドル買いが強まり一時113.49まで上昇。しかし、前日比マイナスで寄り付いた日経平均株価が下落幅を拡大する動きとなると、ドル円は軟調推移となり一時113.04まで下落。113.00手前で下げ止まったものの、米税制改革の進捗状況に対する不透明感が高まっていることや、海外時間に米10月CPIの発表を控えていること等からドル買い戻しの動きは鈍く、113円台前半での上値の重い推移が継続。113.11レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は113.11レベルでオープン。日本株が今年最長となる5営業日の続落を記録したことでドル円も売り圧力が強まる中、米感謝祭を前にしたポジション調整の動きも相俟って、112.65まで下落し、112.76レベルでNYに渡った。ポンドは、1.3151レベルでオープン。英第3Q・就業者数が1.4万人減し、過去2年余りで最大の減少を示し、賃金の伸びも2.2%とインフレ率(3.0%)を大幅に下回ったことで1.3135まで売られる。その後、エバンス・シカゴ連銀総裁の「12月FOMCは予断を持たずに臨む」「引き続き緩和的な政策が必要になると思う」との発言を受けてドルが売られたことで、ポンドは対ドルで下げ渋り、1.3164レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は112.76レベルでオープン。朝方は米10月CPIが市場予想と一致する結果となった一方、米10月小売売上高が前回分が上方修正され、今回も予想を上回ったことから112.87まで戻す。しかし米11月NY連銀製造業景気指数が予想を下回り、米10年債金利も2.32%を割り込む展開に、ドル円は短期的なサポートとされていた112.50を下抜けし、112.47まで下落する。しかし、このレベルでは買い意欲もあり、低下していた米金利が下げ渋る展開に113.19まで戻す。その後、上院共和党(100議席中共和党員52人名)のジョンソン議員が減税法案に反対を表明し、同じ共和党のフレック議員、コリス議員も懸念を示したことから、話し合いが難航するとの見方が強まり、ドル円は112.72まで反落し、112.87レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、前日の良好な欧州経済指標や、ポジションアウインドでドル売り、ユーロ買いが強まったことから1.1853まで戻し、1.1837レベルでNYオープン。朝方は米金利低下を受け1.1862まで上昇したが、1.1870付近はレジスタンスと見られていたことや、米金利が下げ渋る展開に1.1790まで反落する。午後は1.1803まで戻す局面もあったものの、軟調な株式市場を受けたユーロ円の売りに上値を押さえられ、1.1792レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 藤巻・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月15日	08:50	日 GDP(前期比/前年比)・速報	第3Q 0.3%/1.4%	0.4%/1.5%
	17:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	18:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	9月 4.3%	4.3%
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	10月 0.1%/2.0%	0.1%/2.0%
	22:30	米 CPIコア(前月比/前年比)	10月 0.2%/1.8%	0.2%/1.7%
	22:30	米 小売売上高(前月比)・速報	10月 0.2%	0.0%

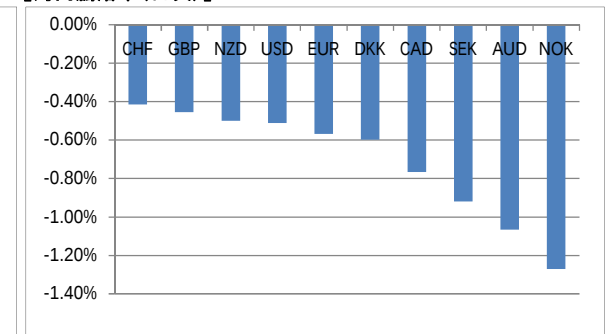
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月16日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	10月 18.8K/5.5%	19.8K/5.5%
	18:30	英 小売売上高(前月比/前年比)	10月 0.2%/-0.5%	-0.8%/1.2%
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)	10月 0.1%/1.4%	0.4%/1.5%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 235K	239K
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	10月 0.5%	0.3%
	23:00	英 カーニーBOE総裁 講演	-	-
11月17日	03:10	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.30-113.30	1.1730-1.1830	132.40-133.40

【マーケット・インプレッション】

日経平均株価が前日比351円下落するなど、世界的な株安・債券高が続く中、リスクオフムードが継続し、ドル円は下落する展開。東京時間は113円台を保っていたものの、海外時間に入り下げ幅を拡げ、一時112.47まで下落。発表された米10月CPI、米10月小売売上高は市場予想通り、もしくは予想比強めの数字となるも反応は限定的。その後、米株・米金利が持ち直す中でドル円は113円台を回復する場面が見られたものの、引けにかけて上値重く推移し、112円台後半でクローズ。本日も引き続き上値の重い展開を予想する。特段明確なリスクオフ材料があるわけではないものの、ここも堅調に推移していた株が調整局面に入っており、雰囲気が悪化している印象。企業決算が一巡したことや、米税制改革法案の行方に対する不透明感が燃る中、株が持ち直す材料に乏しく、株安に引っ張られる形でドル円が下落するリスクを警戒して臨みたい。